

【10-1-7】 養成する人材（国際文化学部国際文化学科）

●学科の教育研究上の目的（学則第3条の2）

現代社会に生起する様々な問題についての的確に対応し、地域文化の多様性を理解するとともに文化交流の担い手として活動し、文化のグローバル・多文化共生を背景とした持続可能な社会の形成に必要な思考力・判断力・行動力を身につけた人材の育成を教育目標とする。

●国際文化学科が設ける履修モデルの目指す人材は以下のとおりです。

①グローバル文化モデル

広くグローバル文化を学修し、国際的視野に立つ企業や機関などで活躍する人材。

②日本アジア文化モデル

激動し、国際力を強めるアジア地域を中心とした国際社会で活躍する人材。